

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者の評価結果について（平成27年度期末）

(ア) 取組実績の評価（1）：事業の実施状況の評価

評価項目

1 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の実施状況
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の実施状況
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の実施状況
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の実施状況

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様式1「地域活動協議会への支援状況（運営）」で報告されているとおり、休日・祭日、早晩に関わらず、地域へ足繁く出向いて丁寧に支援を行い、良好な信頼関係を作ることができている。 ・ いずれの地域でも熱心に取り組んでいる「防災」「福祉」の課題について、防災避難訓練などの企画・運営・実施の支援や、高齢者見守り事業などの事業計画や実施の支援をおこなうことにより、自律的な運営実施の手法を根付かせるようにしていることは、地域から受け入れやすく評価できる。 ・ これまでから情報発信支援に力を入れて取り組んでおり、昨年度16全地域でFacebook等SNSの立ち上げが完了した次のステップとして、すべての年代に対応できるように紙媒体の広報紙発行を進めており、年度当初3地域で発行から10地域に増やすことができた。引き続き、全地域での広報紙発行に向けた支援をしており、広く活動内容の周知、参加者募集、事業実施結果報告をすることにより、新たな人材の確保にもつながるよう取り組んでおり、事業参加者が増えるといった成果もあがってきている。 ・ 若者の参加、新たな人材育成が急務な中、地域まつりや地域開催の成人式などで積極的にボランティア参加者を募集する取り組みなど、目的意識をもった支援がおこなえている。 ・ 地域活動協議会連絡会が自発的に検討し、昨年4月より毎月、各地域ごと順番でテーマ別の「情報交換会」を開催するにあたり、円滑に運営できるよう地域を支援してきた。他地域の実施事業の良いところを吸収しようと、回を重ねるごとに参加者も増え、内容も充実してきていることなど支援の成果が表れてきている。 ・ 「CB/SB化」は順調に進んでいるとは言えないが、受益

	<p>者負担の意識浸透を図る取組みやフリーマーケット開催などの紹介を進め、意識改革を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「法人格の取得」「地域公共人材」の活用については、地域のニーズがないことから進んでいないため、これらの課題については、次年度で計画的に「ステージ1」が達成できるよう支援することを要望する。
--	---

(イ) 取組実績の評価(2): 事業の実施体制等の評価

評価項目

1 自由提案による地域支援の実施状況

2-1 スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制

2-2 フォロー(バックアップ)体制等

3 区のマネジメントに対応した取組

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月1日付でベテラン支援員1名が人事異動により新人に変わったが、アドバイザーに加え他の支援員がフォローできた。 ・ 新人が地域に受け入れられるまでに要する時間も考慮し、従前の支援員が「4地域を週3日勤務」での勤務を、週4日勤務に増やして対応した。 ・ 支援員の勤務体制は、画一的な勤務日・時間ではなく、地域事業に合わせてフレキシブルに対応させることができている。 ・ 地域情報の共有については、業務実施報告書だけではなく、区役所担当者と連携を密にし、随時情報共有もおこなうことができている。 ・ 進捗が見られない「CB/SB化」「法人格の取得」「地域公共人材」の課題については、状況により本部のフォローも得て計画的に進めてもらいたい。

(ウ) 取組効果の評価: 目標等の達成状況の評価

評価項目

1 アンケート調査

2 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)

(1) 「I 地域課題への取組」の達成状況

(2) 「II つながりの拡充」の達成状況

(3) 「III 組織運営」の達成状況

(4) 「IV 区独自取組」の達成状況

3 その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート結果でも前回より良い評価（支援が地域の活動に役に立っている：84.8%、自律的な地域運営に取り組んでいる：61.3%）を得ることができているように、地域に対して丁寧に取り組みをしており、信頼関係を構築しながら中間支援組織としての業務を遂行できている。 ・ 「地活協の構成団体」中、PTAや学校・福祉施設の参加が多い点や地元企業が参加している点について、地域ぐるみのまちづくりを進める下地ができてきている。 ・ SNSの活用・紙媒体による広報の充実により、事前事業開催告知がうまく進んでいる地域では、前年と比べて参加者数も増えてきている。 ・ 事業計画書・決算報告書等の周知は、広く地域住民に信頼を得る重要な手段であり、新たな担い手を確保する手段でもありと考えられ、SNSや紙媒体による周知が出来るように支援し、開かれた地域運営が定着するように一層力を入れて取組まれたい。 ・ 運営委員会から各部会ごとの会議へ変更を進めた結果、共通の課題について議論が深まり、取り組み姿勢も積極的になり、活性化してきている。 ・ 地域により、自律運営の進捗度にかなり差が出てきており、個々の地域に応じた支援プラン・スケジュールをつくり進められたい。

(エ) 総合評価

上記の評価を踏まえ、総合的に評価

1 総合評価 I

項目	評価	左記の理由
(1) 地域課題等の把握・分析・整理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ いずれの地域でも熱心に取り組んでいる「防災」「福祉」の課題について、防災避難訓練などの企画・運営・実施の支援や、高齢者見守り事業などの事業計画や実施の支援をおこなうことにより、自律的な運営実施の手法を根付かせるようとしており、地域から受け入れやすい手法を工夫して取り入れている。 ・ 今年度より、各地域毎の活動状況を報告する「情報交換会」が自発的に開催され、他の地域の良い

		<p>ところを吸収しようと回を重ねるごとに参加者も増え、内容も充実してきていることなど、支援の成果が表れてきている。</p>
(2)目標(支援策)の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	B	<ul style="list-style-type: none"> 16全地域でFacebook等SNSの立ち上げが完了した次のステップとして、全地域での広報紙発行に向けた支援をしており、広く活動内容の周知、参加者募集、事業実施結果報告などすることにより、新たな人材の確保にもつながるよう取り組んでおり、事業参加者が増えるといった成果もあがってきている。 若者の参加、新たな人材育成が急務な中、地域まつりや地域の成人式などで積極的にボランティア参加者を募集するなど、目的意識をもった支援がおこなえている。
(3)区のマネジメントに合った取組	B	<ul style="list-style-type: none"> 「CB/SB化」は順調に進んでいるとは言えないが、受益者負担の意識浸透を図る取組みやフリーマーケット開催などの紹介を進め、意識改革を進めている。 「法人格の取得」「地域公共人材」の活用については、地域のニーズがないことから進んでいないため、これらの課題については、次年度で計画的に「ステージ1」が達成できるよう支援することを要望する。 地域により、自律運営の進捗度にかなり差が出てきており、個々の地域に応じた支援スケジュール、メニュー、プランをつくり進められたい。

2 総合評価Ⅱ

項目	評価	左記の理由
総合評価(全体)	B	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果で、前回以上に良い評価を得ているとおり、休日・祭日、早晩に関わらず、地域へ足繁く出向いて丁寧に支援を行い、良好な信頼関係を構築しながら中間支援組織としての業務を遂行できている。 情報交換会の自主的開催や広報に力を入れた取組みなど、地道な支援が実を結んできている。 地域による進捗度にかなり差が出てきていることから、各地域に応じた支援スケジュール、テー

		<p>マ、メニューを考え、支援員の経験度に応じた配置を行う必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 当初目標である「自律的運営にむけた地域活動協議会の取組」の第1ステージの全項目の達成にむけて、計画をたて、進捗管理を行いながら支援を行う必要がある。
--	--	--

(評価基準)

S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた

A：本市の求める水準以上の効果が得られた

B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた

C：本市の求める水準の効果が得られていない